

2013年度 第1四半期 決算説明資料

2013年7月29日(月) 株式会社大和ネクスト銀行



決算の概要

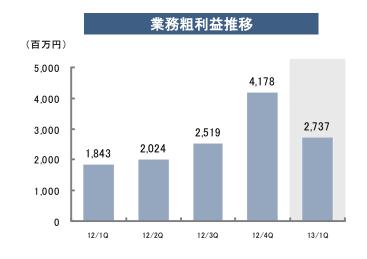
(単位:百万円)		FY2012				FY2013	対'12/4Q	対'12/1Q	FY2012
	(平位.日2711)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減率	増減率	累計
業	務粗利益	1,843	2,024	2,519	4,178	2,737	-34.5%	48.5%	10,566
	うち資金運用収支	1,371	1,334	1,481	1,425	3,888	172.7%	183.5%	5,613
	うち役務取引等収支	-308	-357	-400	-448	-521	-	-	-1,514
	うちその他業務収支	781	1,047	1,438	3,200	-628	-	-	6,467
営	業経費	1,271	1,467	1,411	1,378	1,902	38.0%	49.6%	5,529
経	常利益	572	553	1,107	2,799	832	-70.3%	45.3%	5,033
四	半期純利益	398	390	729	1,789	501	-72.0%	25.7%	3,308

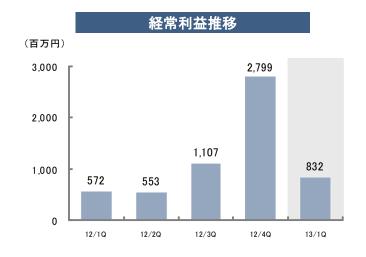
業務粗利益:2,737百万円(前四半期比△34.5%)

- 資金運用収支及びその他業務収支に含まれる債券 等売買損益の影響を除くと、実質的な運用収支は前 四半期比微増
- 債券等売買損益は一定額を計上するも、外貨建運用 に対応した外貨調達コストの増加により、その他業務 収支は減少
- 役務取引等収支は、主に銀行代理店に支払う報酬を 計上

営業経費:1,902百万円(前四半期比+38.0%)

■ 主な増加要因は、増資費用140百万円、預金保険料 増加253百万円

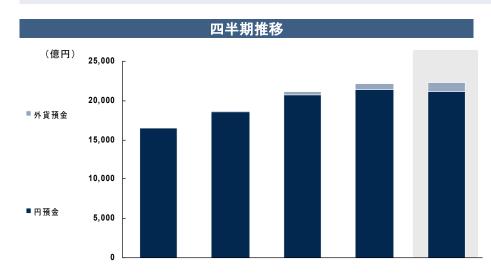




PASSION BEST

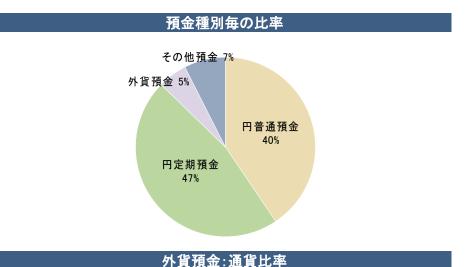
預金の状況

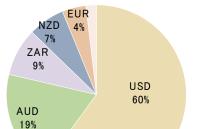
- 預金残高(譲渡性預金含む)は前四半期比185億円の増加。
- 外貨預金は、平成24年7月の取扱開始後約1年で残高1,000億円を突破。



/# m \		FY2013			
(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
円預金(※)	16,559	18,559	20,754	21,371	21,099
外貨預金	-	167	431	736	1,192
預金合計	16,559	18,726	21,186	22,107	22,292

(※)譲渡性預金含む



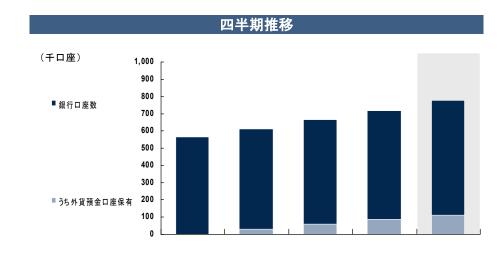


TRY 2%



口座の状況

- 銀行口座数は前四半期比55千口座増加し、775千口座。
- ツインアカウントロ座が9割以上を占めており、年代は60才以上が約6割、50才以上では約8割。

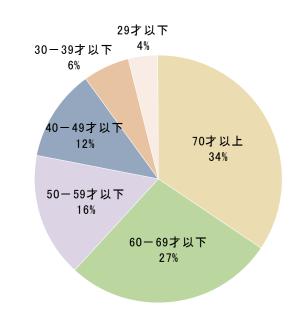


(五日本)		FY2013				
(千口座)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
銀行口座数	563	613	667	719	775	
(うちツインアカウントロ座数)	544	591	643	694	749	

(※)ツインアカウントロ座数

大和証券の総合取引口座と大和ネクスト銀行の銀行口座の両方を開設している口座数

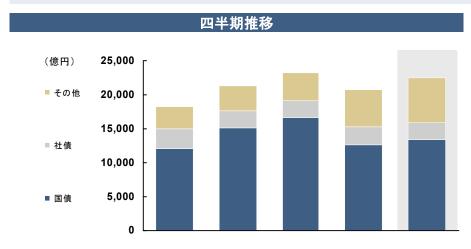
年代分布(個人のお客さま)





有価証券の状況

- 有価証券に占める日本国債の比率は、2013年6月末時点で約6割。
- 有価証券の大半は金利リスクをヘッジしており、変動金利の比率は2013年6月時点で8割。
- 評価損益は、2013年6月末時点で186億円のプラス。



/ l ±	m)		FY2013			
(億	H)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
債券		15,029	17,617	19,091	15,313	15,879
	うち国債	5国債 12,110 15,107 16,585		16,585	12,665	13,453
	うち社債	2,919	2,509	2,506	2,648	2,425
その他		3,233	3,760	4,136	5,465	6,657
有価証券合計		18,263	21,377	23,227	20,779	22,536

変動•固定比率

(%)	FY2013			
(70)	1Q			
変動金利	80%			
固定金利	20%			
合計	100%			

(※)貸出金含む

評価損益

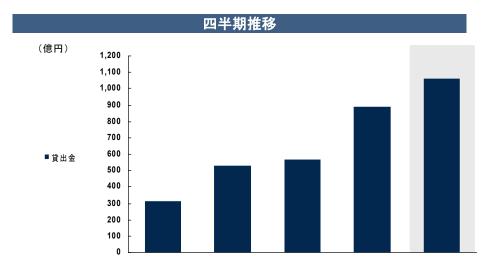
(億円)	FY2013
(底11)	1Q
有価証券評価損益	204
デリバティブ評価損益(※)	Δ17
評価損益	186

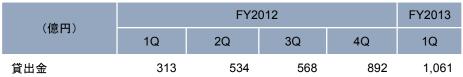
(※)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引の評価損益

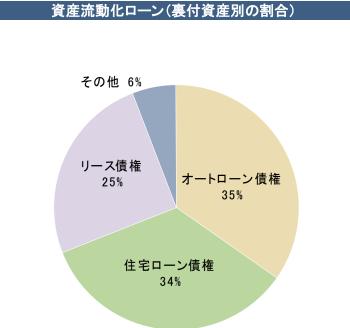


貸出金の状況

- 貸出金残高は前四半期比169億円の増加。
- 貸出金はほぼ全てが資産流動化ローンであり、裏付資産はオートローン債権及び住宅ローン債権が約7割を占める。



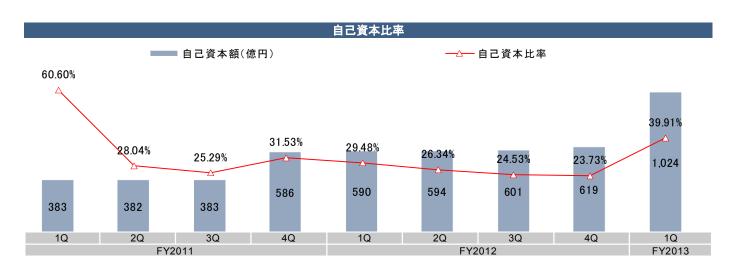






財務基盤の状況

- 自己資本比率は39.91%。
- 2013年4月に400億円の増資を実施。



(億円)	FY2011				FY2012				FY2013
(1息日)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
自己資本額	383	382	383	586	590	594	601	619	1,024
うち資本金・資本準備金	400	400	400	600	600	600	600	600	1,000
自己資本比率	60.60%	28.04%	25.29%	31.53%	29.48%	26.34%	24.53%	23.73%	39.91%